

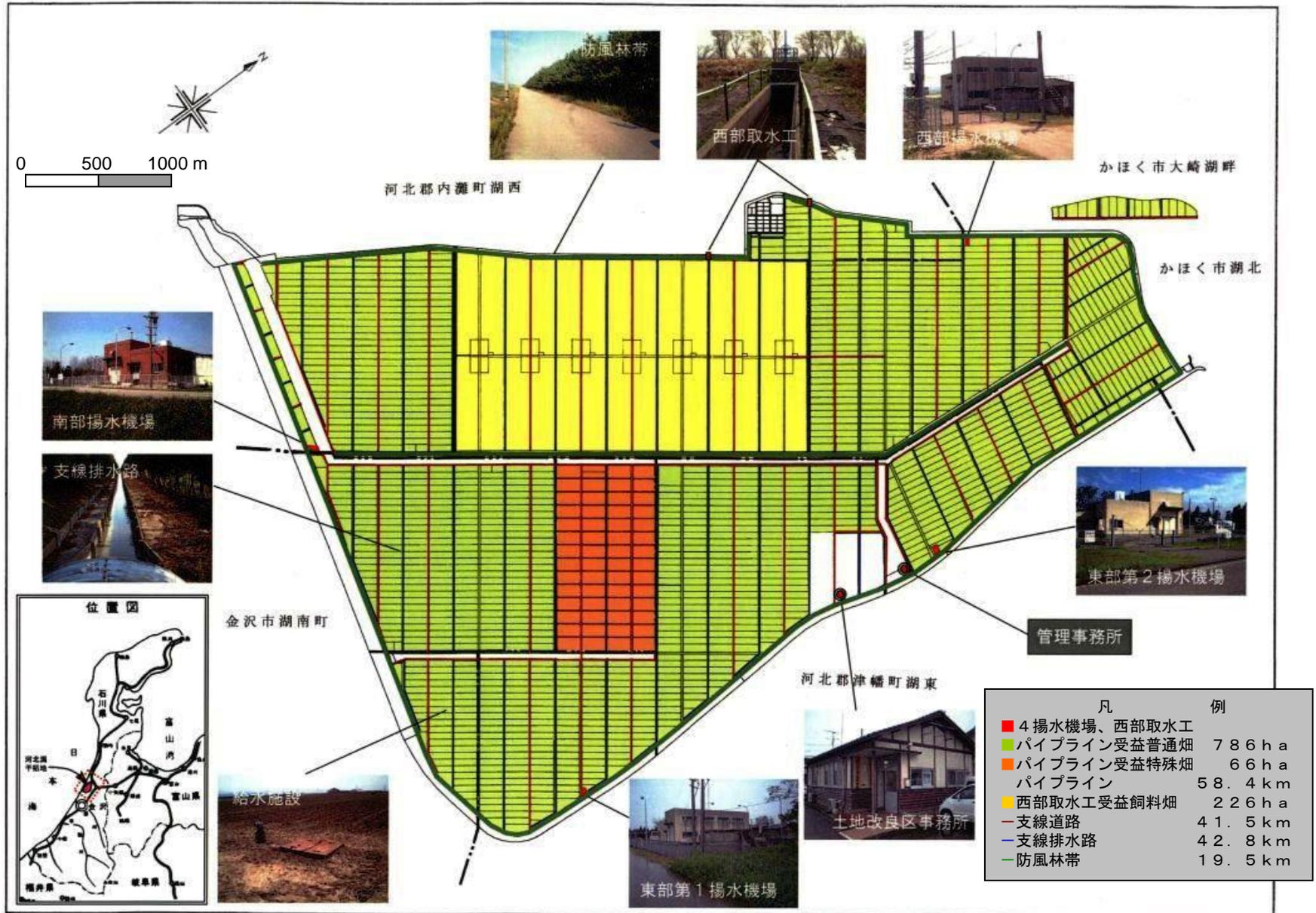
河北潟干拓地の21創造運動と地域保全への取組

ラグーン・ランド
～Lagoon Land～ 「緑の大地」の創造

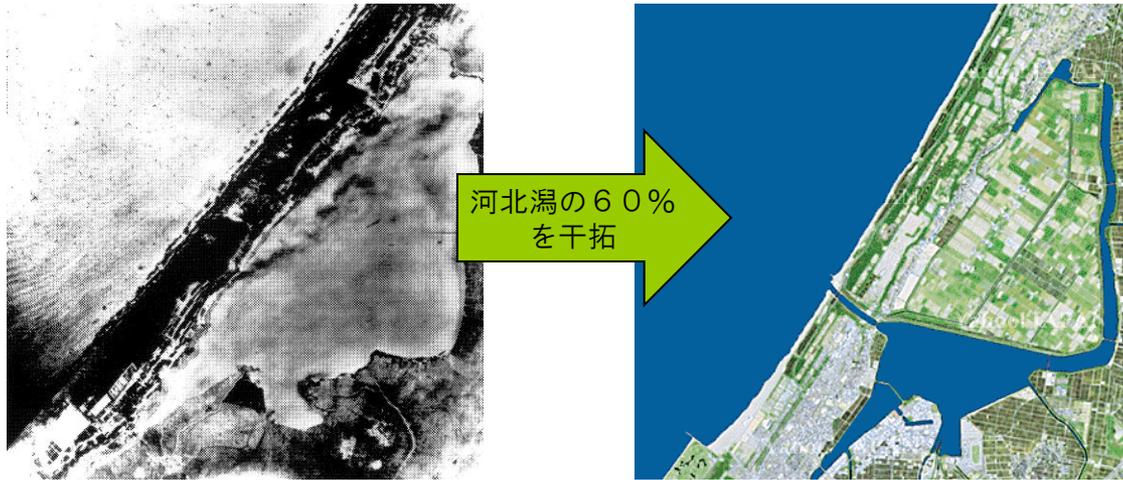
かほくがた みどり

石川県河北潟水土里ネットかんたく

1. 河北潟干拓地の位置と主な施設



2. 新たな大地の誕生 ～国営河北潟干拓建設事業の概要～



東京ドームとの比較

河北潟 ドーム	2, 248 ha	480個
干拓面積 ドーム	1, 356 ha	290個
残存水域 ドーム	892 ha	190個

①食糧増産のための水田の拡大と周辺の排水改良を目的に、昭和38年国営河北潟干拓建設事業が着工。

↓

②昭和40年代に米余りが顕在化し、昭和45年開田抑制通達が出され、昭和52年に水田から畑、酪農に変更。

↓

③昭和54年から畜産団地整備が農用地開発公団営事業により着手。

↓

④20有余年の歳月をかけ、昭和61年に国営干拓事業、公団営事業が完了。

国営干拓総事業費 280億円

干陸面積 1, 356 ha [内訳] 普通畑 786 ha 特殊畑 66 ha 飼料畑 226 ha
施設用地 47 ha 堤防等 231 ha

[市町別内訳] 金沢市 282 ha かほく市 216 ha
津幡町 373 ha 内灘町 485 ha

受益面積 1, 126 ha 組合員数 296名 (H22. 3現在)

3. 21 創造運動 ～背景と理念～

背景

広大な都市近郊農地
畑作&酪農

保全意識・体制
の脆弱化

厳しい農業経営！
高齢化・後継者不足
農産物価格の低下

300名弱の組合員
地域住民がいない

理念

理事会

- 豊かな自然環境
- 周辺へのアクセス機能
- 都市住民の余暇時間の増加
- 干拓地農業の振興と地域との連携...



農業・農村の
多面的機能の推進！

スローガン

親しみの持てる『緑の大地の創造』

構想

緑の大地推進活動

- 農業空間・地域共有財産としての保全
- 安心・安全な食糧生産基地としての推進
- 都心住民との交流促進、PR活動の推進

地域コミュニティ活動

- 周辺地域と連携した環境維持保全
- 学校教育との連携
- 各種活動の場としての提供

周辺住民、NPO、ボランティア団体等
との協力・連携

4. 活動状況 ～緑の大地推進活動～

河北潟干拓地をテーマ、題材
(中心)とした活動

農業空間・
地域共有財産
としての保全

- 農地防風林帯の環境保全 (H12～)
- 除草抑制策の試行 (H15～)
- 干拓地防災体制の構築試行 (H18～)
- 主要道路の愛称看板の設置とフラワーロード整備の促進 (H18～)

安心・安全な
食糧生産基地
としての推進

- 農作物の鳥獣食害被害防止等の推進 (H12～)
- 良質営農用水の確保策の推進 (H12～)
- 冬期の除雪対策の整備 (H14～)
- 資源循環農業の推進 (H9～)

都市住民との交流
PR活動

- 「ふれあい河北潟農業まつり&もうもうフェスタ」の開催 (H2～)
- 河北潟干拓地「月の市」の開催 (H7～)
- 河北潟干拓地「ひまわり村」の設置 (H7～)
- ホームページの開設 (H15～)
- パンフレットの配布 (H15～)

4. 活動状況 ～緑の大地推進活動～

農業空間・
地域共有財産
としての保全

●農地防風林帯の環境保全



周辺住民、ボランティア団体等
の参加による一斉除草

●雑草抑制策の試行



綿羊を利用した除草

河北潟の水位を併記
排水施設の重要性をアピール



●愛称看板の設置 廃瓦チップ材による雑草抑制

4. 活動状況 ～緑の大地推進活動～

安心・安全な
食糧生産基地
としての推進



4. 活動状況 ～緑の大地推進活動～

都市住民との交流
PR活動

●河北潟ふれあいフェスタの開催



にぎわう産直販売

●河北潟干拓地『ひまわり村』の設置



ひまわり村開村式の園児遊園



●ホームページの開設 パンフレットの配布



5. 活動状況 ～地域コミュニティ活動～

河北潟干拓地を活用の一環
(場の提供) としての活動

周辺地域と
連携した
環境維持保全

- 農地防風林帯の景観木補植の推進 (H16～)
- 干拓地美化活動の推進 (H7～)
- クリーン・ウォークの実施 (H18～)

学校教育との連携

- 小中学校総合学習連携推進 (H15～)
 - 出前講座
 - 生き物調査
 - 一斉水質調査
 - ものづくり体験教室
 - 施設見学会
 - 農業体験・収穫体験
- 園児への水路等危険啓発活動 (H7～)
- 消費者交流活動 (H16～)

各種活動の場
としての提供

- 干拓地利用イベント導入の推進
- 観光コース組み入れ試行の発信構想

5. 活動状況 ～地域コミュニティ活動～

周辺地域と
連携した
環境維持保全

●農地防風林帯の景観木補植の推進



周辺住民・ボランティア団体等
参加による景観木の補植

●環境美化活動の推進



周辺住民・ボランティア団体等
参加による干拓地一斉清掃

健康増進+美化活動の
クリーン・ウォーク



●クリーン・ウォークの実施

5. 活動状況 ～地域コミュニティ活動～

学校教育との連携

●小中学校総合学習連携推進



自然素材(雑草)を生かした
ものづくり体験教室



職場体験の受け入れ(ぶどう園の管理作業)



周辺住民・小学生等参加
による流域一斉水質パックテスト

5. 活動状況 ～地域コミュニティ活動～

各種活動の場
としての提供

●各種活動の場としての提供



サイクルロードレースの開催



一周駅伝の開催

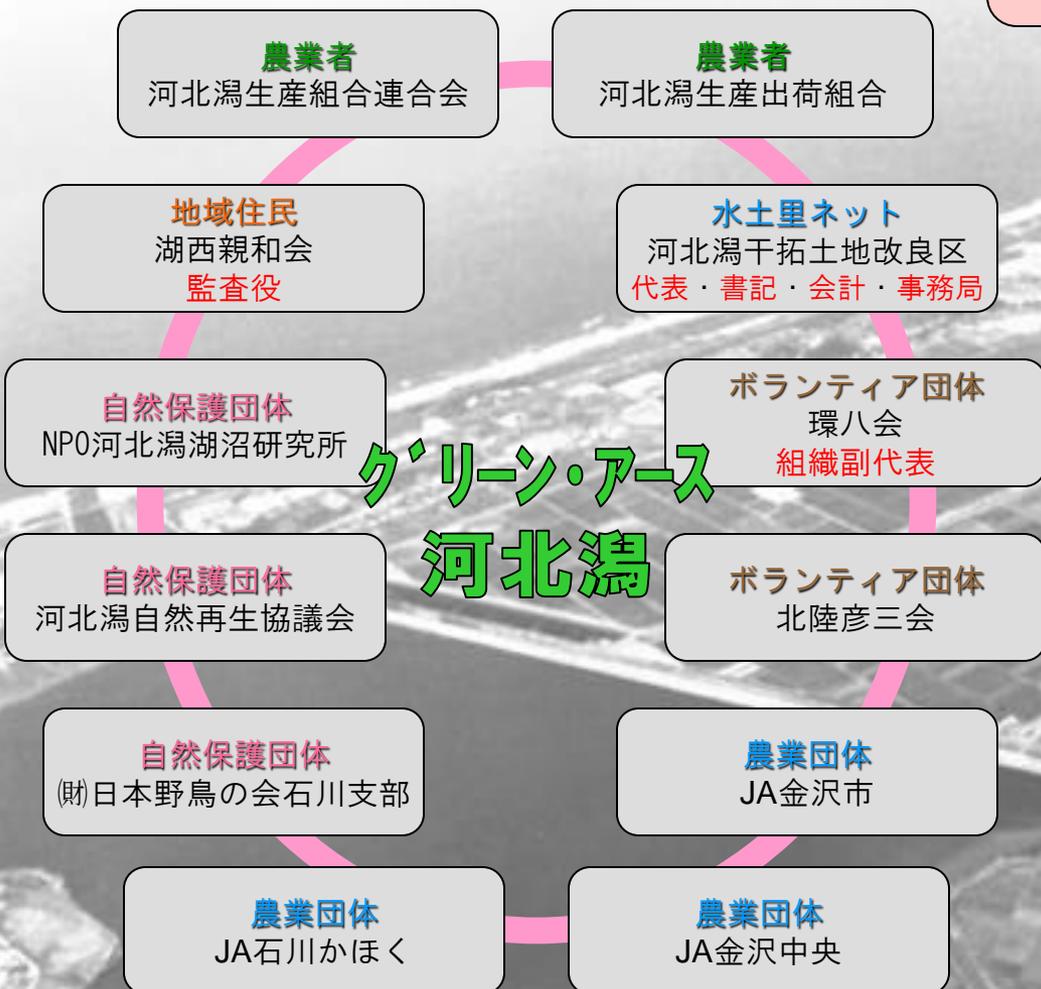
●農業観光地
としての発信計画



全国からの問い合わせ・集客があるひまわり村

6. 農地・水・環境保全向上対策の取り組み

(1) 活動組織〔12団体〕



協定対象資源

農地	1,020ha	パイプライン	58.4km
開水路(支排)	42.8km	開水路(集水渠)	15.6km
農道(AS舗装)	41.5km	農道(敷砂利)	16.4km
防風林帯	23.2km		

得意分野ごとの役割分担による組織参画への対応

基礎部分・誘導部分（農地・水向上活動）の中心的役割を担う農家への対応
 →地区別説明会を実施し、事業内容、作業内容の説明、周知徹底を図った。
 全農家へ作業管理日誌を発送。

誘導部分（農村環境向上活動）の中心的役割を担う参画諸団体への対応
 →その団体の定期の会議の場を借り、事業内容、活動内容の説明を行い、意思疎通を図った。

19. 4. 16 活動組織総会



6. 農地・水・環境保全向上対策の取り組み

(2) 基礎部分、農地・水向上活動

〔周知徹底〕 地区別説明会等

干拓版作業管理日誌の作成



23地区に分け、責任者(地区リーダー)を決め、共同作業日を決定し、各地区ごとに作業を実施

パイプラインの点検・診断



〔実践〕



集合時〔機能診断指示等〕

開水路の点検・診断



開水路の除草



開水路の泥上げ



農道の砂利補充



酪農団地牛放牧による除草



不耕作地の除草



パイプラインの自動弁補修



6. 農地・水・環境保全向上対策の取り組み

(3) 農村環境向上活動

〔計画策定〕実施打合せ



NPO、自然保護団体等

活動項目の内容

- 4つのテーマについて実践
- 〔基本〕干拓地既存活動
- 参画諸団体既存活動
- 1. 年度計画の策定
- 2. 実践前の打合せ

営農活動の取り組み

- 3品目
- 水稻(加工用米) 108ha
- 小松菜(施設園芸) 16.7ha
- トマト(施設園芸) 0.5ha

生態系保全



排水路の生き物調査



生態系など出前授業

水質保全



浸透水の調査(県立大)



木工沈床による浄化調査
(石川高専)

景観形成・
生活環境保全



スポットガーデンの花植え



景観木の補植

資源循環



県産間伐材の利用



刈草の堆肥化試験

7. 成果と今後の展望

成果

- 多面的機能の啓発普及
- 都市住民との交流促進
- 農村環境・地域と連携した景観の推進
- 連携と協力→各団体定例会への参加
- マスコミの利活用
- 水土里ネットの必要性

展望

既存組織との連携と運動組織の設立





~Lagoon Land~

親しみの持てる
『緑の大地の創造』

